

近畿大学との産学連携プロジェクト

常識や既成概念にとらわれない自由な発想と若い感性を通じた 商品開発・企画アイデア

東大阪市では、近畿大学との産学連携プロジェクトで、企業活動の要となる商品開発や商品企画を実施しています。

デザインを学ぶ学生から、常識や既成概念にとらわれない自由な発想と若い感性を通じた商品開発及び商品企画のアイデア、ヒントを得る機会となります。

次の時代を担う学生たちは、次世代の顧客でもあります。この機会を活かして、学生の新しいアイデアと視点を社内のモノづくり環境に活かしてみませんか。

【募集内容】

◎新商品開発・商品企画・アイデアリサーチなど

【担当】

柳橋 肇 文芸学部文化デザイン学科 教授

前田 大介 文芸学部文化デザイン学科 非常勤講師

【事業協力金及び成果に係る費用】

◎55,000円(税込) ※近畿大学受託研究費として

◎学生から提案を受けた商品企画のアイデアを実用化(商品化)する場合

・一括買取 50,000円(税込)※

※この金額を基準としますが、状況に応じ両者協議の上設定します。

【応募要件】

1. 東大阪市内に事業所または主たる生産拠点(工場)を有する製造業者または商品企画・設計・開発業者
2. Zoom が利用可能であること

【定員】

2社 参加意向のある企業の課題内容や商品分野を学生が取り扱えるかどうかなどについて大学で検討し、決定します。文芸学部文化デザイン学科 2～3 年生が中心となって取り組みます。

東大阪市都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室

TEL : 06-4309-3177 FAX : 06-4309-3846 mail : monodukuri@city.higashiosaka.lg.jp

【成果物】

最終成果物は、事業開始時に両者協議の上設定しますが、基本的にはパワーポイントによるプレゼンテーションデータとなります。また、デザインを学ぶ学生のため、必要に応じてイメージスケッチやラフ模型、3D データなど視覚化された成果物も提出される場合もありますが、あくまでも企画やアイデア段階です。また、商品のコンセプトや企画画が中心となりますので、製品(＝立体物)以外の新事業提案などもその対象となります。

その他、個別の打ち合わせにより最適なアウトプットをご提示できるよう柔軟に対応いたします。

【スケジュール(予定)】

- 7～8月中 大学との面談(取り組みの目的や内容の共有など)
- 9月中 参加企業から学生に自社技術・製品の紹介。取り組む課題等の説明。
- 10月・11月 学生による中間プレゼンテーション 商品企画の方向性を確認。
- 令和7年1月末 学生による最終プレゼンテーション 最終の企画内容・アイデアの提案。
参加企業による講評、大学教員による総評。

※学生との意見のすり合わせについては上記の流れで実施いたしますが、取り組みの進捗状況など必要に応じ、何回でも可能です。

※授業はオンラインで実施する可能性があります。

◎学科内の授業に取り込んで行います。参加学生の人数は履修状況により未定です。

毎週火曜日もしくは木曜日 13:15～14:45

【申込方法】

下記の必要事項を記載の上、モノづくり支援室までメールにてお申込み下さい。

1. 企業名
2. 担当者名
3. 連絡先(電話・FAX・Eメール)
4. 学生に提案いただきたい内容(具体的に)

【申込締切】

令和6年6月21日(金) 締切

東大阪市都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室 宛

メール: monodukuri@city.higashiosaka.lg.jp

本事業の取り組みについては、オンライン(Zoom)を活用した授業も想定しております。

そのため、Zoom を利用できる環境を整備していただく必要がございます。